

4 施 策

(1) 住み続けたい、移り住みたいまちづくり

住みたくなる環境の条件には、就業の機会、教育環境、安価な家賃や住居取得費、交通環境、生活必需品の調達環境など様々な条件が考えられます。

過疎地からの脱却を図る本町にとっては、これらの諸条件を満たす生活空間づくりは重要命題であり、物質的な施設だけでなく、自然環境や景観の保全なども含めた様々な魅力あるインフラや空間の創出が必要となります。

道路網の整備、特に小竹駅を中心とした交通アクセスの整備は、小竹団地の有効性を高めるとともに、交流人口の増加や住民の利便性向上を図るために重要であります。

小竹駅での乗降客数は、駅周辺環境の整備がほぼ完了したことから徐々に増えていきます。また、小竹団地への企業立地に伴う駅利用者の増加が見込まれることから、小竹駅をキーステーションとした巡回バス等の公共交通体系の構築を進めます。

災害や防犯に強い、安全で安心して住むことのできる明るく住みよいまちづくりを目指すため、災害においては「小竹町地域防災計画」に沿って施設の防災対策の推進や防災体制の充実・強化を図ります。防犯については、防犯灯の充実強化を図っていきます。

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
住宅情報の充実	町のホームページの整備等により、住宅に関する情報を発信する。	行 政	新 規 中長期
防犯灯のLED化	町が設置している防犯灯をLED照明に取替。約460灯。	行 政	短 期
防犯灯取替に対する補助金	町内自治会で設置・維持管理している既設の防犯灯をLED照明に取り替える際の費用の助成。町内約800灯。	各自治会 行 政	新 規 短 期
公園の設置、維持管理	町内8か所に公園を設置、町民の憩いの場の確保に努める。	行 政	短 期
町営住宅長寿命化計画の実施	長寿命化計画に基づき、町営住宅の建替え修繕を行う。	行 政	中長期
定住促進住宅の整備	定住化を目的とした住宅を整備し、定住希望者へ提供する。	行 政	中長期
住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金	住宅用太陽光発電システム等を設置する世帯に対する支援	町 民 行 政	短 期
浄化槽設置整備事業補助金	合併処理浄化槽の設備設置に対する各世帯への支援	町 民 行 政	短 期
水洗便所改造補助金	公共下水道接続時に水洗便所に改造する費用の一部補助	町 民 行 政	短 期

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
農業集落排水加入金の引き下げ	農業集落排水加入金（50万円）の引き下げを実施	行 政	新 規 短 期
防災行政無線整備	災害等に対する備えとして、町内全域聴取可能な無線を設置	行 政	短 期
地域防災計画策定	安心安全のまちづくりのための各種災害予防策	行 政	短 期
町民カレンダー作成	町民カレンダーを作成し、各戸配布とする。	行 政	短 期
小竹・天道線バス路線維持負担金	小竹・天道線の路線維持を図る。	企 業 行 政	短 期
小竹駅・勝野駅の自由通路開設維持管理	自由通路・コミュニティーホールの設置により、町民の利便性を図る。	行 政	短 期
生ごみ処理容器購入費補助金	各世帯での購入費に対する支援	町 民 行 政	短 期
巡回バス運行事業	町内約60ヶ所の停留所を設け、無料での運行を行う。	行 政	短 期
橋梁長寿命化修繕計画	町道に架かる橋につき点検を実施、健全度を把握するとともに老朽化した橋を年次計画で整備	行 政	中長期
蛇牟田川排水機場建設	大雨時における浸水、冠水を防ぎ、災害を防止するため、大型ポンプの設置	行 政	短 期
道路ストック総点検事業	町道について舗装等の整備を年次計画で実施	行 政	中長期
定住促進事業	町営住宅長寿命化計画実施により、遊休地への住宅斡旋等を行う。	行 政	新 規 中長期

(2) 子どもが伸び伸び育つ、生涯現役のまちづくり

定住、移住の促進を図っていくためには、子育て環境や健康づくりの取組みが重要です。そこで、家族形態の多様化などにより少子化が急速に進展していく中で、家庭内での子育てに対する不安感や負担感が増大してきています。今こそ、心豊かな人間性を育てる地域の環境づくりが求められています。

子どもたちを元気で明るく心豊かに育てるための環境、地域づくり、子育て支援体制づくりを推進していく必要があります。

町民の健康維持増進及び疾病予防のため、各種ボランティア団体の育成に取り組み、

住民と一体となった総合的な健康づくりを図ってまいります。

健康で明るく過ごせるよう生活習慣病や介護を要する状態に陥ることをできる限り予防するため、健康づくり推進員の活用の充実を図り、「健康寿命の延伸」を目標として、町民総ぐるみの健康づくりに努めます。

また、生涯現役のまちづくりを進めていくため、健康な高齢者の働き場の場、交流の場を支援していきます。

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
定住促進住宅家賃減免	同居親族で18歳未満の人数によって家賃を減額する。	町 民 行 政	短 期
学童保育所設置	町内3小学校に学童保育所を設置、1年生から6年生まで、定数100人	社 協 行 政	短 期
子育て短期支援事業	就学前の乳幼児を鞍手乳児院にてお預かりする。	行 政	短 期
児童手当支給事業	児童のいる世帯の生活安定、児童の健全な成長を促す目的で支給される。	行 政	短 期
児童館設置運営	児童のいる世帯への子育て支援対策	社 協 行 政	短 期
児童の医療費無料化	現在の小学校就学前までを小学校6年生まで医療費自己負担無料化に拡大	行 政	新 規 短 期
広域入所保育	小竹町在住の幼児につき保護者の関係で他の市町村の保育園等に入所可能	行 政	短 期
認定こども園設置	就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する。地域における子育て支援を行う。	行 政	新 規 短 期
乳児健診	乳児・1歳6か月・3歳児健診、離乳食教室	行 政	短 期
妊婦健康診査補助券	母子健康手帳交付時に受診券を交付し、里帰り等で県外受診した場合の助成	行 政	短 期
予防接種事業	子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌他、各種のワクチン接種	行 政	短 期
介護予防教室	筋力アップ教室などの運動指導を行う事業	行 政	短 期
健康診査・各種がん検診事業	基本健康診査及び各種がん検診	行 政	短 期
健康教育事業	一般ウォーキング教室、高血圧予防教室、腎臓病予防	行 政	短 期
国民健康保険特定健康診査	40歳から74歳までの方を対象とした健診	行 政	短 期

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
緊急通報体制整備事業	ひとり暮らしの高齢者等に対する緊急通報装置の貸与	行 政	短 期
高齢者社会活動促進支援	老人クラブ連合会、各老人クラブへの支援	行 政	短 期
敬老祝い金	町内 100 歳以上の方と 88 歳の方への祝い金	行 政	短 期
「食」の自立支援事業	65 歳以上のひとり暮らしの高齢者に対し、配食サービスを提供	社 協 行 政	短 期
ふれあいサロン事業	在宅の虚弱高齢者に対し、通所の方法により日常生活の孤立防止策などの各種のサービスを提供	町 民 社 協 行 政	短 期
宮若・小竹シルバー人材センター運営補助金	生涯現役を支援するなど、シルバー人材センターへの運営費補助。小竹町在住のシルバー人材センター会員数 63 人。	町 民 行 政	短 期

(3) まちや地域の魅力が実感できるまちづくり

本町の魅力づくりのひとつとして雇用機会の増大は重要な要素です。

そこで、本町の農業の振興を図るため、認定農業者制度の普及・推進に努めるとともに農業経営の合理化を進め、生産性の高い稲作や園芸、畜産等の振興を図って、高品質、低コスト生産による経営の安定化と産業として自立できる農業の確立に努めます。

製造業では、立地条件の優位性を活かして、小竹団地への企業誘致を積極的に推進するとともに地場における雇用機会の拡大を図ってまいります。

商業の振興については、各種活動の充実支援に努めるとともに、他産業との連携強化も含めた新しい商業形態を模索・展開するため、商業者を中心として関係機関等や行政との連携強化を図ります。

まちづくりの基本は人であり、そこに住む人々の「ふるさとを愛する気持ち」が非常に重要な要因となります。この気持ちは、幼少時から培われるものであり、幼児教育や義務教育時代の様々な体験を通して、ふるさとに関心を持ち、ふるさとを愛する心を育むことが大切です。

このために、教育環境の整備・充実を図るとともに、地域の人々との交流を深める事業を推進する必要があります。

現在、取り組んでいる観光計画によって本町の資源を活かした魅力あるまちづくりを、町民、関係団体、行政により進めていきます。

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
企業誘致	企業の誘致を推進し、雇用の場の創出・拡大を図る。小竹団地全区画	行 政	短 期
雇用促進奨励金	小竹町民の雇用に対する企業への支援策	企 業	短 期
中小企業人材育成助成金制度	中小企業大学校の研修に対する助成金制度を創設する。	企 業 行 政	新 規 短 期
農業経営体育成資金借入に対する利子補給	農業経営体の育成を図るため、資金を借り入れた認定農業者に対する支援	農業者 行 政	短 期
米麦共同乾燥調製施設運営	米麦の生産効率向上と低コスト化を目指し、施設の共同利用による農業経営の安定を推進する。	農業団体 行 政	短 期
水田農業担い手機械導入支援事業費補助	米の品質向上や低コスト生産を図るため、水田農業の担い手に対し、農業用機械導入を支援	農業者 行 政	短 期
青年就農給付金事業費補助	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため所得を確保する支援策	農業者 行 政	短 期
水田農業経営力強化交付金	意欲的に経営発展を目指す農業生産法人を支援	農業団体 行 政	短 期
麦・大豆等生産技術の向上、営農推進補助	麦・大豆等の1年2作及び減農薬・減化学肥料栽培の取り組みを行った農業者に対する支援	農業者 行 政	短 期
直鞍広域消費生活センター設置	直鞍2市2町でセンターを設置、相談・普及・啓発及び情報交換を行う。	行 政	短 期
町商工会支援	小竹町商工会に対し、経営改善普及・組織強化・まちづくりの支援を行う。	商工会 行 政	短 期
ふれあいプレミアム付き商品券発行支援	小竹町商工会に対し、一般商品券と住宅リフォーム券の発行について支援	商工会 行 政	短 期
観光まちづくりビジョン策定	観光によるまちづくり計画書の策定	商工会 行 政	新 規 短 期
観光まちづくり協会設立	協会の設立によって、観光振興や町の魅力づくりに寄与する。	商工会 行 政	新 規 短 期
遠賀川河川敷の公園化	水辺に親しむ空間の創設、河川敷を利用した遠賀川沿いの公園整備。約3.6ha。	行 政	新 規 中長期
育英資金貸付事業	学費の支弁が困難な高校以上の学生について、無利子で奨学金の貸付を行う。	学 生 行 政	短 期
心理カウンセラーによる相談事業	幼稚園、各小中学校を心理カウンセラーが巡回し、児童生徒、保護者等のカウンセリング実施	行 政	短 期

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の 種 類
生きる力の育成事業 補助金	学習活動の中で、豊かな人間性を基礎とした「生きる力」を培うための教育活動への補助	行 政	短 期
国際理解教育講師配置	幼稚園、小学校を英国人のアシスタントティーチャーが巡回し、国際理解教育を推進する。	行 政	短 期
町立幼稚園設置事業	町立による3、4、5歳児の幼稚園設置事業、各1クラスで62人在籍	行 政	短 期
幼稚園就園奨励事業	保護者の所得等によって授業料の支援	行 政	短 期
絵本の読み聞かせ事業	各小中学校及び中央公民館を中心に絵本の読み聞かせをボランティア団体が実施	町 民	短 期
学習サポーター配置	学習サポーターを各校に配置、きめ細かな少人数指導を実施	行 政	新 規 短 期
教育相談員配置	各小中学校を巡回する教育相談員を配置し、いじめの問題等の早期対応を図る。	行 政	新 規 短 期
指導主事配置	教育委員会事務局に指導主事を配置し、教育力向上を図る。	行 政	新 規 短 期
中学校の給食導入	中学校において、給食を実施する。	行 政	新 規 短 期
給食費の助成	幼稚園、小中学校の給食費を助成する。	行 政	新 規 短 期

(4) 老若男女みんなで創る絆のまちづくり

少子化や核家族化の進展によって社会構造や家族の形態が変化してきており、家族や地域がもっていた扶養機能、相互扶助機能の低下が心配されています。

本町では、幅広い積極的な地域福祉活動に取り組む一方、民生・児童委員の地域における広範囲な福祉増進活動など、地域福祉対策の基盤整備を推進してきました。

しかし、少子・高齢化が今後さらに進むことに伴い、地域福祉活動に関する広報、啓発を行い、町民の積極的な参加を促し、行政と町民が一体となった地域福祉ネットワークづくりの推進を図ることが必要です。

定住促進のための重要な要素は、小竹町に永住するだけの魅力を感じることができることです。そのための施策の一つとして社会教育環境の整備や地域活動あるいは文化の継承など、町民が心豊かでうるおいと生きがいのある生活が営めるよう、生涯学習等の充実を図る必要があります。

地方における住民の意識は、交通手段の発達に伴う生活圏の拡大、働き場の多様化、情

報網の発達に伴う住民意識の全国的平準化などにより、閉鎖的で地方的な共同の意識から、開放的で都市的な個人主義へと変わってきました。このため、地域での連帯主義や共同意識は低下し、若い世代を中心に地域社会への参画意識や関心が薄れてきました。

このような時、地域を再生し活力を取り戻すためには、地域内でのコミュニティーづくりが、最も重要な課題となってきています。

総合計画の将来像としている協働・共生のまちづくりを進めるため、各自治会長によって構成されるまちづくり協議会を設け、地域づくり事業に対して補助金の交付を行います。

地域の課題解決やさらなる活性化を目指し、地域と行政とのつなぎ役となる「職員チーム」制度の拡充を図り、地域づくり計画等の策定支援を進めます。

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種類
福祉タクシー料金助成事業	身体に障害のある方に対する負担軽減支援策	事業者行政	短期
身体障害者福祉協会補助	手話通訳などで活躍の協会に対する支援	団体行政	短期
障害児通所支援給付	未就学児童に対する発達支援や放課後等に生活能力の向上のために必要な訓練等を行う給付事業	行政	短期
移動支援事業	屋外での移動が困難な障害のある方に対する外出のための支援事業	行政	短期
コミュニケーション支援事業	手話通訳者等の派遣事業	行政	短期
障害者等相談支援業務	障害のある方やその保護者等からの相談に応じ、情報提供や権利擁護に必要な援助を行う事業	行政	短期
ひとり親家庭等医療費無料化	母子、父子家庭の児童等に対する医療費自己負担無料化	行政	短期
重度障害者医療対策	重度の障害者に対する医療費自己負担無料化	町民行政	短期
ふれあい運動会	地域コミュニティーの再生、各地域間の親善、交流を目的とし、町民全体を対象とした運動会実施	町民地域行政	短期
少年スポーツ育成補助	ジュニアスポーツ団体への育成補助金、優先的施設利用などの支援	団体行政	短期
そよ風と灯りの夕べ	町民の文化意識の推進を図るべく、おはなしと音楽のコラボレーションイベントを実施	行政	短期

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
安全安心まちづくり 推進協議会設置	高齢者、障害者等の方の見守りのための 安否確認及び災害時の避難支援等の体制 づくり	地 域 行 政	短 期
区育成補助金	各区の住民自治の拡充に資する活動を 支援する。	地 域 行 政	短 期
地区集会施設汚水処理 設備費補助金	各集会施設に対し、公共下水道への接続 及び合併処理浄化槽の設置について支援 を行う。	地 域 行 政	短 期
区集会施設維持管理費 交付金	各区に対して集会施設の維持管理費を 支援	地 域 行 政	短 期
区事務交付金	各区への加入世帯数を基準に交付額を 決定、地域協働の推進を図る。	地 域 行 政	短 期
地域協働地区補助金	地域づくり事業を実施する区に対して 支援を行う。	地 域 行 政	短 期
人材育成事業補助金	ふるさとづくりに貢献する人材育成事業 等に対する支援を行う。	町 民 行 政	短 期
小竹町民まつり	ステージ・イベント部門をはじめとして 部門別によるまつりを実施	町 民 行 政	短 期
ゆるキャラ作成	「こうちゃん、たけちゃん」の双子の象 をイメージしたゆるキャラ作成	行 政	新 規 短 期

(5) IT環境の充実と情報発信のまちづくり

町の行政情報をいち早く伝えるために、ホームページによる広報公聴活動施策の活性化を図ります。ホームページをリニューアルすることによって、行政情報を素早く効率的に発信し、小竹町の魅力を常にアピールして参ります。

また、高速情報通信網の整備に関しては、民間事業者による全町域を対象とした整備について、陳情活動を継続して行うとともに、町内での今後の情報通信網の整備状況と照らし合わせながら、町による整備も検討して参ります。

また、町民の様々な手続きを1階フロアで完結させるワンストップサービスを進めていくとともに、町民と行政等で進めていく地域づくり計画等に関する情報提供を行う仕組みを充実していきます。

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
ホームページ改修業務 委託	ホームページ全面について、閲覧しやす いように改修する。	行 政	新 規 短 期

事業及び取組み	内 容	事業主体	目標の種 類
地域づくり事業等の迅速な情報提供	地域づくり計画に基づく事業の内容等の情報提供を行う。	地 域 行 政	新 規 短 期
ホームページ管理方法改正	ホームページの内容をいつも新しいデータに入れ替え、携帯電話からも閲覧しやすいように改正する。	行 政	新 規 短 期
高速情報通信網整備協議	民間事業者による情報通信網の整備を協議し、各種サービスの提供を図る。	事業者 行 政	新 規 中長期
庁舎内でのワンストップサービスの推進	庁舎での様々な手続きを1階フロアで完結させる。	行 政	新 規 中長期

5 計画の実現に向けて

移住定住施策を推進していくためには、施策立案の時点から町民との連携を図り、協働の精神をもって、町全体で各施策の充実と町民サービスの向上に努め、魅力的なまちづくりを進める必要があります。

そのためには、「移住定住すみよか計画策定推進委員会」を中心に各部署が連携して、施策を可及的速やかに、効果的に実施するとともに、移住定住に関する情報等を分かりやすく発信していくことが肝要です。

加えて、地域協働に関し従来から設置している「職員チーム」制度の活用も含め、町民、地域、関係団体、企業との協働体制の絆を強くして、町全体が一体となってこの計画を推進していきます。

また、施設建築、更新等の建設的事業や道路網の整備、交通の利便性の向上、医療機関の充実策など、長期的な期間を必要とする課題もあり、町単独で施策を実施していくには限界があることから、各種の取り組みが効果を発揮するまでの期間を考慮しながら、その波及効果や対策などを度々検証、見直しを行って参ります。